

常圧 SOFC システムにて、国内最大出力 100kW 超、
および累積運転 3,300 時間達成



常圧 150 kW 級 SOFC システムの外観

J パワー（電源開発株式会社 社長：中垣 喜彦^{なかがき よしひこ}）は、本年 1 月より試運転を実施してきた「常圧 150kW 級 SOFC システム」（SOFC：固体酸化物形燃料電池）において、先月、国内最大出力（DC 発電端）となる 100kW 超での運転に成功しました。また、これまでの試運転の時間について、連続運転約 1,050 時間を含む累積約 3,300 時間の運転時間を先月末に達成しました。

今後は、来年度末までの本格試験において、発電出力 150 kW 級、目標運転時間 10,000 時間以上（累計）を目指します。

J パワーは、平成 3 年より SOFC 開発を開始してきました。平成 18 年には「常圧 25kW 級 SOFC サブモジュール」の検証試験を成功裏に完了し、引続き、SOFC のシステム化と長期信頼性の検証を主目的として、「常圧 150kW 級 SOFC システム」試験を実施しています。

今後、約 1 年にわたり長期信頼性・運用性の確認試験を実施して、システムの課題を抽出し、商用化を目指して SOFC システムの開発を行っていく予定です。

J パワーは、将来の CHP（熱電併給）市場への導入、さらには電気事業用の大型システム開発や I G F C（石炭ガス化燃料電池複合発電システム）への適用を視野に入れて SOFC の開発を進めていきます。

以 上

< 添付資料 >

1. 「常圧 150kW 級 SOFC システム」試験の概要
2. 固体酸化物形燃料電池（SOFC）の特徴